



## 代表作

- 『確証』 (1949年)
- 『医師と女』 (1955年)
- 『検診台 隨筆』 (1956年)
- 『婦人科医のカルテ』 (1963年)
- 『不斷煩惱』 (1973年)
- 『火刑の海』 (1980年)
- 『『作家』・芥川賞・おんな 戦後文化史の傍証』 (1981年)
- 『連獅子』 (1989年)

# 小谷 剛

KOTANI Tsuyoshi

## 活動略歴

1924年	京都市生まれ、 <b>名古屋育ち</b> 。
1937年	<b>旧制東海中学校</b> (現: 東海中学校) に入学。
1942年	<b>名古屋帝国大学附属医学専門部卒業</b> 。航空隊に入隊、終戦を迎える。
1946年	<b>名古屋市中川区石場町</b> にて産婦人科の開業医となる。
1948年	文芸同人誌『作家』を主宰。当時では珍しく北海道から広島までに同人がおり、一大勢力となつた。同人から直木賞・芥川賞を輩出。
1949年	『確証』で戦後1回目の芥川賞を受賞。
1957年	『作家』通巻100号の際、同人誌としての賞「作家賞」も設立した。
1991年	自伝的長編小説執筆中、逝去。

小谷氏の死後45年、『作家』は継続刊行された。

参考・出展元／『『作家』・芥川賞・おんな 戦後文化史の傍証』

小谷剛 中日新聞本社 1981年

『作家・小谷剛と『作家』』戸田鎮子

中日出版社 1999年

KOTANI Tsuyoshi (1924 - 1991/Genre ; Classic literature, Essayist), He grew up in Nagoya, and while working as an obstetrician and gynecologist in Nakagawa Ward, Nagoya, in 1948, together with volunteers, he presided over the self-published magazine "Sakka (novelist)" and founded it in Nagoya.

In 1949, he became the first artist to win the 21st Akutagawa Prize after the war. The "Sakka (novelist)" coterie has expanded to a nationwide scale and has produced many authors who have won literary awards.

江戸

明治

大正

昭和初期

昭和中・後期

平成

↑年代別インデックス

※色は「郷土ゆかりの近現代文学史略年表」に準じます

※特別色・濃青色・年代色が江戸時代のため

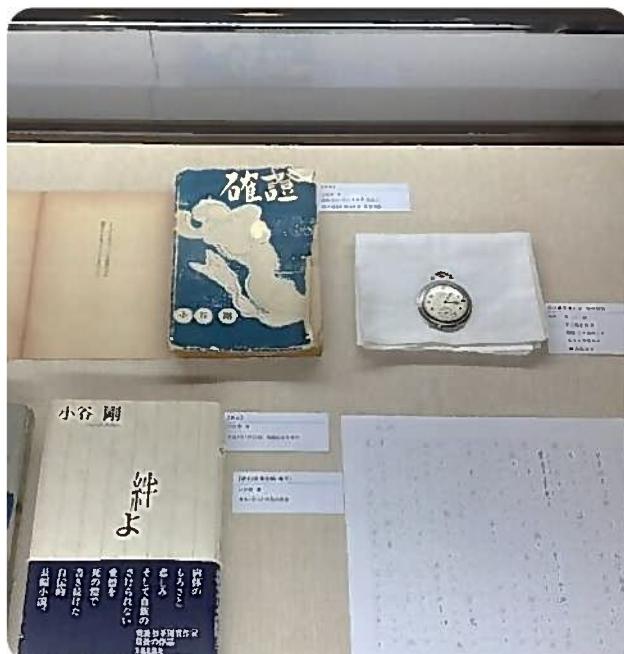
ジャンル / 小説

Novelist

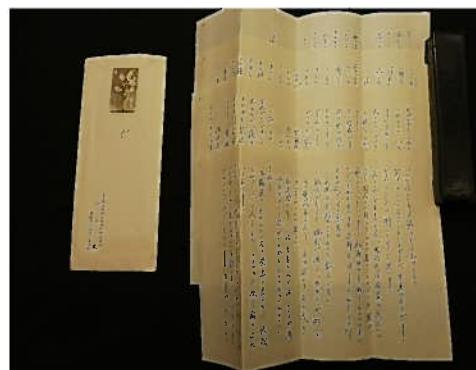
## 名古屋市収蔵の資料 ／小谷剛

(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to Kotani Tsuyoshi in Nagoya City.  
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,  
City of Nagoya.



←文化のみち二葉館 2階にあ  
る「ゆかりの作家展示室」内  
常設展示の小谷剛資料品。



↑小谷剛 直筆書簡。



↑小谷剛・主宰の同人誌「作家」。



←名古屋市中川区で開業した小谷剛の病院の写真。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。  
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。